

広島大学大学院総合科学研究科「リスク研究プロジェクト」協賛
2019年度（公社）砂防学会中四国支部・（公社）日本地すべり学会関西支部合同
討 論 会（参加無料）

日 時： 2019年10月19日（土） 9:30～15:00

場 所： 広島大学総合科学部 L201 教室

テーマ： 平成30年7月豪雨災害の概要と復旧状況について

近年、極端な異常気象の頻度が増えて災害につながる事例も増加している。昨年7月の西日本豪雨による災害もその典型例の一つである。もともと中国地方には土砂災害危険箇所が多いことで知られているが、中でも広島県はその数が全国47都道府県中の第一位であり、しかも増え続けている。それにも関わらず、その危険性を我がこととして認識できていない状況がある。どのようにすれば、真に命を守れるようになるのかを考えていきたい。



坂町小屋浦の土砂洪水氾濫
(2018年7月10日海堀撮影)

9:10～9:30 受付

9:30～9:35 討論会開会あいさつ

話題提供(9:35～12:00)

9:35～10:10 「平成30年豪雨災害を踏まえた広島県の取り組み」

広島県土木建築局砂防課 山本 悟司課長

10:10～10:45 「東広島地区民有林直轄治山事業について」

林野庁近畿中国森林管理局 山地災害復旧対策室 津脇 晋嗣室長

10:50～11:25 「危ない地形・地質の見分け方」

(公社)地すべり学会 上野 将司

11:25～12:00 「山間部における土砂災害の危険度分布と防災対策」

広島大学大学院総合科学研究科 長谷川 祐治准教授

昼休憩(12:00～13:00) * 進行状況により昼休憩の時間を延長する場合もあるものとする

討論会(13:00～15:00) * 昼休憩の時間により開始時刻を遅らせる場合もあるものとする

コーディネーター 海堀 正博(広島大学「リスク研究プロジェクト」世話人代表)

パネラー 話題提供者ほか

<問い合わせ>

広島大学大学院総合科学研究科 砂防学研究室 海堀正博
kaibori@hiroshima-u.ac.jp; Tel. 082-424-6522(研究室)